

とちぎ骨髄バンクを広める会

編集：尾内 繁夫 発行：高橋 謙

お問い合わせ先

事務局：〒327-0012 佐野市出流原町 736-6 新井 謙 TEL 0283-25-0325
E-mail: kysarai@peach.ocn.ne.jp

基金・会費は、郵便振替口座番号：00300-1-12677 加入者名義：とちぎ骨髄バンクを広める会

とちぎ骨髄バンクを広める会は、(財)日本社会福祉弘済会よりボランティア共済の補給を受けています。



ひとつの生命を救うために、
あなたが出来ること。
骨髄バンクにご登録ください。



<http://www.donorsnet.net>

とちぎ骨髄バンクを広める会
会報
平成15年07月15日 発行
第93号

**無理せず楽しく
真剣に！**
平成15年度 行動指針

都賀町 県民の日



登録説明の様子

事務局 新井です。
本で行われました県民の日
イベントのレポートです。

残念ながら快晴とはなりませんでした。心配した雨もなく、県民の日は開幕しました。
広める会の参加者は8名。県薬務課、血液センターと協力して準備が進められ、10時を過ぎるとお客さんが次第に増えて来ました。早速会員は手分けして、チラシ配り、ペンシルパーン作り、登録説明と活動を始めました。例にもれずペンシルパーンは大盛況で親子がたくさんブースの前に並びました。ことばかりにチラシ配り班はチラシを配って歩きました。また、チラシ配り班は広い場内を歩いて回ってチラシを配って回りました。



好評のペンシルパーン

街頭でのチラシ配りと違い受けとってくれる確立は抜群に高いです。やっぱりお祭は違うと思いました。受けとってくれた方全員が家で読んでくれることを願いながら配りました。
ペンシルパーンは5,655円の寄付がありました。登録会は予約が4名。当日受付が1名。合計5名の登録でした。また、「健康福祉センターに後で登録に行きます」とチャンスを持って帰って下さった方もいました。
また、登録会では2名の会員の方の登録説明員研修も行われました。参加されて方、お疲れ様でした。

ドナー登録会説明員 講習会
平成15年6月1日(日)
足利 柳田メディア(株) 会議室

ドナー登録会 説明員 講習会

講師：松原有紀、高橋謙、
受講生：尾内繁夫、大美賀恒夫、山田、篠崎美枝、五月女洪、山中行男さん(LC)
オブザーバー：五月女むつ子さん

楽しく、真剣に、和気あいあいと行われた勉強会でした。3時間ほどかかりましたので、皆さんお疲れだったと思います。会場提供が有難かったです。順次、実地研修が終わり次第、財団に申請していきたいと思っております。

今後の実施研修予定
6/7 都賀町・県民の日 献血併行ドナー登録会：篠崎美枝、五月女洪
6/27 足利市民活動センター・登録説明会：大美賀、尾内
8/3 小山駅東口・公明党献血会：山中さん、山田

お知らせ

- 7/7(月) 大田原市骨髄バンク登録推進協議会
総会・講演会(講師：陽田秀夫氏)
- 7/25(金) 今市市 献血並行ドナー登録会
今市市立健康福祉センター AM10:00~
- 8/3(日) 献血併行ドナー登録会
小山駅東口広場 AM10:00~
- 8/11(月) 鹿沼市 献血並行ドナー登録会
鹿沼市役所 AM10:00~
- 8/28(木) JOY倶楽部コンサート in とちぎ 告知活動
壬生町中央公民館大ホール PM1:30~
広める会が後援、同封のチラシをご覧ください
- 9/21(日) ふれあいフェスタかぬま 献血並行ドナー登録会 & 告知活動
鹿沼市文化活動交流館 AM9:00~

いずれも説明員・ボランティアスタッフを募集しています。
参加できる方は事務局までご連絡下さい。

活動費の精算について

第2回定例会にて同封の精算様式(同封)が決定しました。
会員の皆様のご協力をお願いします。

患者負担金への医療保険適用を 求める請願書について

現在、388名の書名が集まっています。9月中旬締切です。引き続き署名活動をお願いします。また署名の郵送先は「事務局 新井」まで。
送料については各自ご負担をお願いいたします。

ご寄付ありがとうございます。

板橋 昌子さん 3,000円
稲川 すずえさん 10,000円
井上 久仁子さん 10,000円

本年、第3回目の定例会を下記により開催したいと思います。
参加は自由です。お友達(非会員)と一緒に、大歓迎です。
どなたでも参加できます。参加をお待ちしております。

第3回
定例会

日時 平成15年7月16日(水)19時~2時間程度
場所 石橋総合病院 2階会議室

日本骨髄バンクの現状(2003年5月末現在)

| | 5月 | 現在数 | 累計数 |
|---------|-------|---------|---------|
| ドナー登録者数 | 1,657 | 170,560 | 213,758 |
| 患者登録者数 | 159 | 2,134 | 14,341 |
| 骨髄移植例数 | 59 | - | 4,858 |

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります

骨髄バンク・臍帯血バンク 共同事業協議会 発足

*「骨髄バンク・臍帯血バンク共同事業協議会」を発足
臍帯血バンクNow No.11より

「臍帯血バンクと骨髄バンクは、利用対象の患者さんなどがほぼ同一であることから、公的臍帯血バンク事業では設立当初から、骨髄バンクとの連携が必要であるとされてきました。骨髄バンクと臍帯血バンクの双方では、こうした共通の問題意識のもとに、どのように今後の方向性を模索するかが懸案事項となっていました。この共通認識をもとに、骨髄バンク(骨髄移植推進財団)と日本臍帯血バンクネットワークではそれぞれの最高意志決定機関の承認を受け、「骨髄バンク・臍帯血バンク共同事業協議会」を発足させました。同協議会は、双方のバンク組織が5人ずつの委員を選出して構成され、種々の議題を検討します。これに基づき、第1回の会合が5月2日に開催され、この協議会が発足しました。第1回会合では、議長に陽田秀夫氏(日本臍帯血バンクネットワーク監事)を選出し、今後は共通の患者さんのための窓口のあり方や国際協力、広報活動などに関する事が協議されることになっています。」

男性合唱団 コール・ファーマー コンサート案内

<http://www.chor-farmer.com/>

瓦井 良幸

第61回定期演奏会

7月13日(日)午後2時開演(午後1時半開場)
トッパンホール(飯田橋・江戸川橋より徒歩約10分程度)
指揮 升本 弘・ピアノ伴奏 湯山優子

コンサート会場受付にて「チャンス」を置いてあります。
プログラムと一緒に渡しております。
もちろん殆どの団員はバンクに登録しています。

経緯

6~7年前から骨髄バンク登録への話は出ていて、私も5年ほど前に登録しました。3年前にはOBの故宮下さんが白血病との知らせをし、クラブ内でのバンクへの登録を一層強めてきました。ドナーが見つかったとも知らせが届いた事もありましたが、その後も入退院の繰り返しだったようです。そのなかで一途の望みを持って、私が昨年5月に骨髄提供しました。先輩もその事を喜んでいてくれましたが、みんなの願いも届かず翌6月25日に宮下さんは他界されました。きっと私の提供のチャンスがなかったら、メンバーもただただ辛い経験だったかもしれません。去年のコンサートからパンフレット配布、広報紙・プログラムに掲載し僕らの経験をを通して、お客さんへ理解と登録のお願いを呼びかけをしている状況です。

よろしかったらお越し下さい。
楽しい時間を提供できると思います。

会報担当の尾内です。

住居: 足利市

年齢: 42歳

職業: OA機器販売 & システムサポート

入会の経緯: 病気のため、ドナー登録抹消。

このまま骨髄バンクとの関わりがなくなるのが淋しくて、netで検索して「広める会」の存在を知りました。

昨年4月に入会したばかりの新人です。

仕事の特性から、会報編集とホームページ管理・メーリングリスト管理を任せられました。親しみやすく読みやすく紙面作り・サイトの更新を目指します。

これからもよろしくお願ひいたします。



尾内 繁夫

『豊かさとは何かを考える夕べ』
～デンマークの医療福祉を通して～
デンマークネストヴェズ市長来訪

栗
本
孝
雄

豊かさとは 何かを 考える夕べ

平成15年7月17日(木) 小山市立文化センター 小ホール
受付:17時30分～ 開演:18時20分～ 参加費:500円

第一部 デンマーク福祉施策 18:40～19:00
第二部 シンポジウム 19:00～20:30

(パネリスト)

カーリン・クリステンセン (ネストヴェズ市 国際部)

上岡 栄信 (株式会社 ICSI 社長)

伊藤 弘泰 (NPO法人 日本アビリティーズ協会会長)

新田 國男 (国立市医師会副会長 新田クリニック院長 医学博士)

(コメンテーター)

ヘニング・エイセン (ネストヴェズ市市長)

(司会者)

太田 秀樹 (NPO法人 在宅ケアを支える診療所

市民全国ネットワーク副会長)

(医療法人 アスミス 理事長 医学博士)

共済

NPO法人 日本アビリティーズ協会

医療法人 アスミス

株式会社 斉藤組 ヒュ・マンケア事業部

蔵の街コミュニティケア研究会

後援

デンマーク大使館

栃木ケアマネジャー協会

在宅ケアネットワーク栃木

異業種交流会 大翔会

お問い合わせ

株式会社 斉藤組

ヒュ・マンケア事業部 市民セミナー実行委員会

TEL 0285(25)3860 FAX 0285(25)5980

<http://www5.ocn.ne.jp/kiboukai/seminar.html>

上記シンポジウムの司会者、太田秀樹先生は、小山で在宅医療のさががけになった医師。

下野新聞『しもつけ随想』に掲載された

2003.1.12掲載: 往きの医療、還りの医療

2003.2.16掲載: 生きる権利、死ぬ権利

2003.3.23掲載: 寿命

2003.4.27掲載: 寝たきり老人に医療がある国、ない国

2003.6.1掲載: 一本の点滴

……が、

<http://www5.ocn.ne.jp/kiboukai/shimotuke.html#Anchor-47751>

で読めます。

在宅医療、施設介護、地域福祉、終末期医療、自己決定や自立などなど、多くの示唆に富む内容と思われます。広報へのご協力をお願いすると共に、当日ご来場いただければ幸いです。



大 美 賀 恒 夫

とちぎ骨髄バンクを広める会の皆様

大美賀恒夫(おおみかつねお)と申します。43歳足利市に住んでいます。

とちぎ骨髄バンクを広める会に入会させて頂いたのは2000年2月です、入会后三年が経過しましたがあまりお手伝いしてないのが現状です、

これからは出席出来る行事など有るときはお手伝いに行

き

ますので、宜しくお願ひ申し上げます

平成15年度 役員 紹介 (第三回)